

行政機能 ／警察・ 消防	住宅・ 都市	保健医療 ・福祉	エネル ギー	金融	情報 通信	産業 構造	交通・ 物流	農林 水産	国土 保全	環境	土地 利用
--------------------	-----------	-------------	-----------	----	----------	----------	-----------	----------	----------	----	----------

農業基盤を守りたい

No.33

農林水産省

補助金等

(開始年度) 平成9年度

支援の名称	官民連携新技術研究開発事業
制度の 趣旨・背景	農業農村整備事業の現場にすぐに生かせる、土地改良施設の長寿命化や耐震強化などの新技術開発を、官民の密接な連携の下に進めることで、農業農村整備事業を一層効率的に推進することを目的とした制度です。
制度の 内容	新技術の研究開発を行う者に対して、予算の範囲内において、新技術の研究開発に要する経費の補助を行います。 ■補助率 1. 新技術研究開発：1/2 2. 特定課題：定額 ■対象となる取組 1. 新技術研究開発 「農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るための適切な保全管理に資する技術」及び「農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術」など、農業農村整備事業の効率的な実施に資する技術開発を行います。 2. 特定課題 1) 農業集落排水施設の長寿命化に資する維持管理及び改築方法の開発 農業集落排水施設における機械・電気設備等について長寿命化を図るため、維持管理及び改築方法に関する技術開発を行います。 2) 小水力発電施設の効果的な除塵対策に資する技術開発 小水力発電施設の低コスト化、管理コスト縮減が図れるよう安価で効果的な除塵対策に関する技術開発を行います。
対象と なる方	上記の取組を行う、共同研究（産官学）（新技術開発組合（2社以上の民間企業）と試験研究機関（大学又は独立行政法人）の共同研究を行うこと）が対象となります。
問い合わせ 先など	農林水産省 農村振興局 整備部設計課 施工企画調整室 TEL：03-3591-5798 ■関連 URL ・官民連携新技術研究開発事業 http://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/kanmin.html

官民連携新技術研究開発事業の拡充の概要

【現状と課題】

- 民間の活力を導入しながら農業農村整備事業の効率的な実施に資する新技術を開発
- 農業の競争力強化・10年後の農業所得倍増を実現するためには、農業構造の変化に的確に対応し、農業収益力の向上に資する農業インフラの構築が課題
- 農業集落排水施設の老朽化の進行により、施設の長寿命化に資する効率的な保守点検・運転方法や改築方法の開発が課題
- 低落差・小流量の農業水利施設における小水力発電施設の普及促進に向け、除塵対策が課題

【事業内容】

(1)新技術開発【拡充】

【H27～H31年度要求内容】

事業対象に「農業収益力向上に資する先進的な基盤整備に係る技術」を追加

事業実施主体

複数の民間企業等による新技術研究開発組合
(ただし、大学又は研究機関との共同研究を行うこと)

(2)特定課題【拡充】

【H27～H28年度要求内容】

農業集落排水施設の長寿命化に資する維持管理及び改築方法の開発



小水力発電施設の普及促進に向けた安価で効果的な除塵対策に資する技術開発

新技術研究開発組合

民間企業 A

民間企業 B

民間企業 C

二以上の民間企業



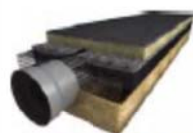
大学・試験研究機関等

共同研究

【事業成果】

農業農村整備事業等のコスト縮減に寄与

新技術開発



開発技術事例
【パイプラインの浅埋設】



広範囲・多数のほ場ごとの作物の生育状況に応じて、田面水位や地下水位を自動で遠隔制御するシステムの技術開発

特定課題



コンクリート腐食状況



ポンプ腐食状況

農業集落排水施設の長寿命化に資する維持管理・改築方法の技術開発



小水力発電施設の普及促進に向けた安価で効果的な除塵対策に資する技術開発